

検査官に密着～橋梁補修工事の中間検査に同行～

令和8年8月24日



国道53号の奈義町馬桑にある馬桑橋では、橋を長く安全に利用するための補修工事を行っています。



馬桑橋



今回の現場は
ここです！



令和7年度国道53号馬桑橋橋梁補修工事

出典：国土地理院「地理院地図（電子Web）」を基に国土交通省岡山国道事務所が作成

工事検査は、普段、工事の監督をしている職員とは別の職員が行い、工事の実施状況や形状・品質などを確認しています。

また、工事の最後だけでなく、施工上重要な段階でも、適正な施工となるよう検査を行う場合があります。

今回は橋梁補修工事の中間技術検査に同行したので、その様子をおとどけします。



【書面検査】

まずは工事の実施状況を記録や写真などにより確認しました。



書面検査とは言っていますが、書類ではなく、それら書類の電子データをモニター確認する事が標準的となっています。

検査でチェックする項目

○ **工事の実施状況** ☒

○ **形状** ☒

○ **品質** ☒

○ **仕上がり具合** ☒

書面検査では、工事の実施状況の他、設計どおりの形状に出来ているか、必要な品質が確保されているかチェックしました。

書面検査で確認した形状や仕上がり具合を見るために現地検査も行います。

【現地検査】

次に、実際に橋へ行き、補修した部分を確認しました。



補修した箇所の形状や仕上がり具合について、測定器具で測る他、近くで見たり触ったりして確認しました。

【通知書の交付】

検査の結果、適切に工事が行われていることを確認しました。
そして、確認した事を示した検査確認通知書を施工業者の方へ渡しました。



これからも橋の補修工事を進めることで、道路を利用する皆さんが安心して利用できる安全な橋を維持していきます！

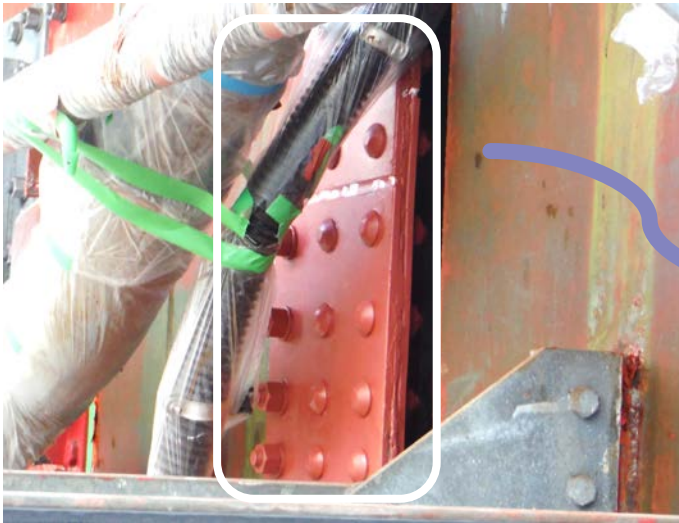
【施工業者の方からのコメント】

細部にわたり丁寧な検査をいただき、有難うございます。ご指導いただいた事項については社内で共有するとともに、残り6か月間の工事で活かし、良質な補修の実現に向けて、更なる品質向上と安全の確保を続けていきます。

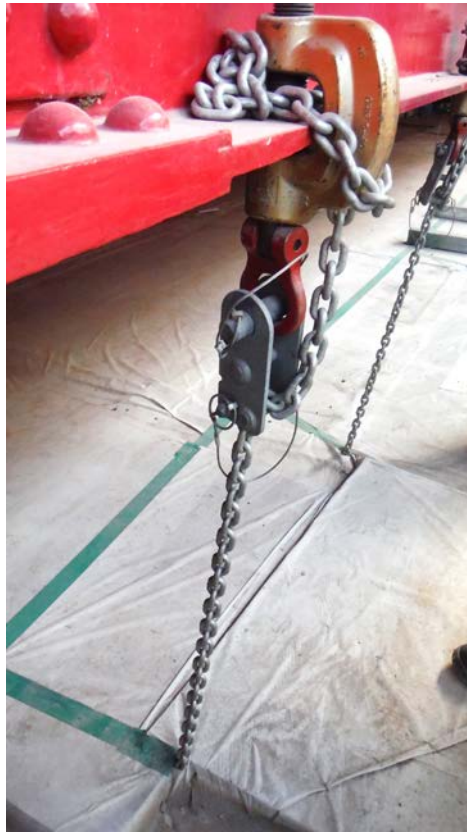
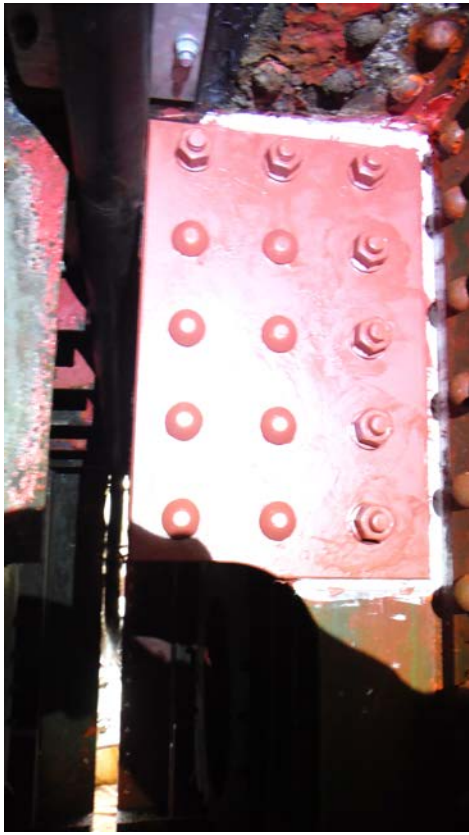


山陽ロード工業株式会社 H氏

【おまけ】



上の左の写真の裏側も見せてもらいましたが、すごく狭い中で工事を行っていることがわかります。



記事作成:品質確保課 A